

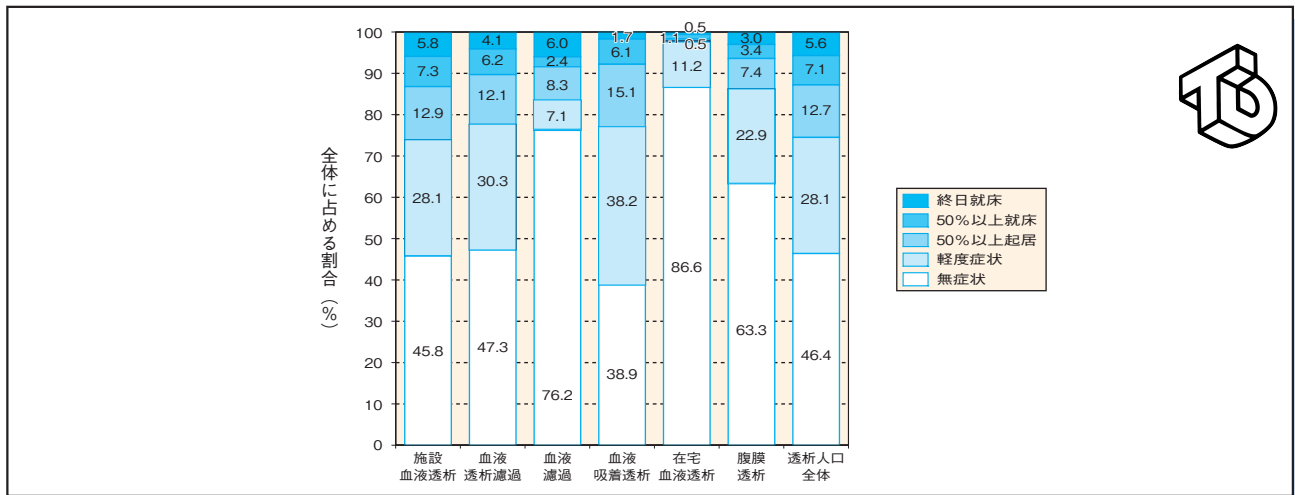
4) 生活活動度

前回調査¹⁾に引き続いて日常生活活動度（activities of daily living, ADL）について調査された。調査に用いられた選択肢文と図表内での見出しを以下に示した。

表 日常生活活動度調査で用いた選択肢と図表内見出し一覧

調査で用いた選択肢	図表内見出し
A：無症状で社会活動ができ、制限を受けることなく発病前と同等にふるまえる。	→ 無症状
B：軽度の症状があり、肉体的労働は制限を受けるが、歩行、軽作業や座業はできる。 例えば軽い家事、事務など	→ 軽度症状
C：歩行や身のまわりの事はできるが、時に少し介助のいることもある。 軽労働はできないが、日中の50%以上は起居している。	→ 50%以上起居
D：身のまわりのある程度のことはできるが、しばしば介助が要り、 日中の50%以上は就床している。	→ 50%以上就床
E：身のまわりのこともできず、常に介助がいり、終日就床を必要としている。	→ 終日就床
Z：不明、分類不能	→ 不明

(1) 治療方法と日常生活活動度 (図表31)



生活活動度 治療方法別 (透析患者全体)

生活活動度	施設血液透析	血液透析濾過	血液濾過	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析	合計
無症状 (%)	97,770 (45.8)	5,869 (47.3)	64 (76.2)	609 (38.9)	162 (86.6)	3,829 (63.3)	108,303 (46.4)
軽度症状 (%)	59,834 (28.1)	3,755 (30.3)	6 (7.1)	599 (38.2)	21 (11.2)	1,386 (22.9)	65,601 (28.1)
50%以上起居 (%)	27,581 (12.9)	1,496 (12.1)	7 (8.3)	237 (15.1)	1 (0.5)	447 (7.4)	29,769 (12.7)
50%以上就床 (%)	15,590 (7.3)	773 (6.2)	2 (2.4)	96 (6.1)	2 (1.1)	204 (3.4)	16,667 (7.1)
終日就床 (%)	12,471 (5.8)	507 (4.1)	5 (6.0)	26 (1.7)	1 (0.5)	181 (3.0)	13,191 (5.6)
合計 (%)	213,246 (100.0)	12,400 (100.0)	84 (100.0)	1,567 (100.0)	187 (100.0)	6,047 (100.0)	233,531 (100.0)
不明	1,875	31		11		151	2,068
記載なし	45,803	2,167	68	294	85	2,997	51,414
総計	260,924	14,598	152	1,872	272	9,195	287,013

患者調査による集計

解説

治療方法とADLとの関係を示した。前回調査では血液濾過患者にADLの低い患者が多く認められたが、今回調査ではそのような傾向は認められなかった。他の治療方法については昨年の調査結果とほぼ同等の結果であった。